

済生会新潟第二病院 公開・オプトアウト書式

① 請番号	E18-13
② 研究課題名	本邦における若年性子宮体がん妊孕性温存治療についての調査研究
③ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	妊孕性温存治療の拡大を図ると同時に、安易な治療がなされていないかどうかを検証し、治療の質の担保と安全な普及についての提言を提唱することを目的とする。エクセルファイルで作成した調査票を日本産科婦人科学会ホームページにアップロードする。
④ 利用または提供する情報の項目	1) 年齢 2) 身長・体重 3) 病歴 4) 既往歴 5) 治療歴（治療薬、投与量、治療開始日等） 6) 有害事象（副作用・合併症の発生等） 7) その他（その後の妊娠分娩歴）
⑤ 対象者及び対象期間	2009年1月から2013年12月までに子宮体がんに対し妊孕性温存を目的とした初回治療を行った症例
⑥ 利用の範囲	
⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者	久留米大学医学部産婦人科 牛嶋公生 0942-31-7573
⑧ 問い合わせ先	済生会新潟第二病院 産婦人科 芹川 武大 025-233-6161

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。